

平成27年度事業計画

自平成27年 4月 1日 至平成28年 3月31日
公益財団法人 大平正芳記念財団

事業計画概要

本年は、財団発足30周年に当たり、3つの中核公益事業・「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学術研究センターとの共同事業」、「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」について、個々の公益性にしっかりと留意しつつ、例年事業と発足30周年記念事業を着実に遂行する。

1 環太平洋学術研究奨励事業

(1) 第31回大平正芳記念賞 3件に対しクリスタル牌と
賞金 300万円

- ① 芦澤 久仁子氏(アメリカン大学国際関係学部講師、日本プログラムコーディネーター)

『Japan, the US, and Regional Institution-Building in the New Asia
:When Identity Matters』 Palgrave Macmillan 2013年

- ② 本名 純氏(立命館大学国際関係学部教授)

『民主化のパラドックスーインドネシアにみるアジア政治の深層』岩波書店
2014年

- ③ 赤羽 淳氏(横浜市立大学国際総合科学部国際マネジメント研究科
准教授)

『東アジア液晶パネル産業の発展ー韓国・台湾企業の急速キャッチアップと
日本企業の対応』勁草書房 2014年

(2) 第29回学術研究助成費 2件 助成費 160万円

【個人研究】 1件 60万円

- ① Monir Hossain Moni 氏 (アジア太平洋世界研究所(APIGS)研究教授、
バングラデシュ国ダッカ市)

『Major Challenges to Japan's Soft Power as a Means of
Successful Public Diplomacy - A Current West Asia Context』

【出版助成】 1件 100万円

- ① 孫曉英氏(中国天津外国語大学日本語学院専任講師、工学院大学孔子学院講師)
『戦後日中教育文化交流史に関する教育学的研究—大平学校の事例を中心に』

2 北京日本学研究センターとの共同事業

「大平コーナー」運営推進事業の一環として

- (1) 第11回「日本語優秀学位論文大会」の開催
- (2) 「第6回～第10回日本語優秀学位論文集」の作成
当財団・北京日本学研究センター発足30周年記念事業の一環として、「第6回～第10回日本語優秀学位論文集」を作成し、日本(語)学科を有する大学・大学院、専門学校、高校に配布を行う。
- (3) 日本学術名著の翻訳・発行(教材)事業(9年度目)の実施
北京日本学研究センター在籍生はもとより、日本に関心を持つ、大学学部生・専門学校生、高等学校生にも理解しやすい著作を選定し、発行を行う。本年度は、新しく公開された外交記録・原文書、新資料、側近等のインタビューなどを加えて、故大平正芳の軌跡を、系統的・時系列的にわかりやすく描いた良書として、服部龍二著『大平正芳 理念と外交』について実施する。
- (4) 当財団・北京日本学研究センター発足30周年記念講演会の開催

3 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

- (1) 図書の制作と無償配布を行う事業
 - ① 財団発足30周年記念図書の出版
財団発足20周年記念図書『アジア太平洋連帯構想 大平総理の遺産』(平成17年4月刊)、大平総理生誕百年記念図書『アジア太平洋と新しい地域主義の展開』(平成22年4月刊)に続く3部作目として、記念図書を刊行する。具体的には、下記5つのテーマを設定し、各テーマごとに4～5名の専門家の参加を得てセッションを行い、その結果を集成した形で、編著『アジア太平洋地域の未来像(仮題)』を出版する。

(テ ー マ)	(座 長)
①東北アジア	渡辺 利夫
②日米中	毛里 和子
③東南アジア	山影 進
④日豪関係	山澤 逸平
⑤大平正芳の思想	渡邊 昭夫

- ② 平成24年6月に『大平正芳全著作集』最終第7巻を刊行し、全国190箇所の大学附属図書館及び香川県下63箇所の高校・公立図書館に無償配布を行った後の対応として、当著作集の内容に係る各方面からの照会、マスメディアによるテレビ番組への引用の要望等に的確に対応することを通じて、当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を図る。

- (2) 公的機関を通じて故大平正芳の関係資料等の公開を行う事業(平成27年3月末・大平正芳記念館閉館に伴う、同記念館運営事業の後継事業)
 故大平正芳の偉業を記念するため、関係資料等に関し、国立国会図書館憲政資料室と寄託契約を締結し、当公的機関を通じて公開を行う。当事業は、
 ①当財団より寄贈の遺品並びに文書等の公開を行う、地元観音寺市による、豊浜町中央公民館内に所在の「大平正芳記念室」運営事業、②当財団より寄贈の旧大平正芳記念館・大平文庫を公開する、香川県立図書館における事業と一体をなす。
- (3) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団レポート」発行と無償配布の事業
 ① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行
 ア 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット
 イ 「大平正芳記念財団の事業活動」(平成27年6月から同28年5月まで)リーフレット
 ② 「大平正芳記念財団レポート」第33号の発行
- (4) 「大平正芳記念財団30年のあゆみ」年譜の作成
 大平正芳記念財団発足30周年記念事業の一環として、「30年のあゆみ」年譜を作成する。